

みき通信



日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告

第36号 2013年12月15日

発行 **がんばれくぼたみきの会**

連絡先 875-7126 (阿部)

あきらめない！ 数の暴力許さない！

12月6日（金）深夜の参院本会議で、人権、民主主義、平和を踏みつぶす悪法、**秘密保護法が自民・公明の強行採決で成立しました。**

この日、日比谷野外音楽堂には15000人もの方が集まり、「絶対反対！ 国民の声を聴け！」のコールが鳴り響き、著名な映画関係者、学者、作家、ジャーナリストなど、急速に反対の声が広がる中での、強行でした。

自分には関係ないと思ったら、とんでもありません。何が秘密かもヒミツで、だれでもうっかり知ったり洩らしたりしたら、厳罰に処せられるのです。

法案に反対する市民のデモを、石破自民党幹事長のブログで「テロと本質的にかわらない」としたことが問題になりましたが、市民の口封じがこの法の本質です。

日本共産党の仁比聡平議員は、「『安全保障のためなら秘密にして当たり前』というなら、大本営発表で国民を欺いたあの戦争を繰り返す道だ」と追及しました。

秘密保護法と一体の国家安全保障会議（NSC）設置法案に賛成した民主党。「修正」合意で、自民党の暴走に手を貸した維新の会、みんなの党。

メディアは言論・報道の危機に、ようやくこの問題を連日とりあげ始めましたが、一貫して反対し論陣をはる日本共産党などより、「修正」議論ばかりを話題にしました。

民主主義に反する秘密保護法は「修正」ではなく廃止するしかありません。

自民・公明与党のおごり、数の暴力への怒りと、秘密保護法廃止、撤廃の声が全国にひろがっています。

あきらめず、関心を持ち続け、声を上げていきましょう。

平和な日本であるために！

改悪を狙う介護保険制度。高齢者にも住みよい街づくりを 町議会議員 くぼたみき

まだ制度が決定されたわけではありませんが、介護保険制度改悪が問題となっています。改定案では、利用される方にとって良い方向に向いているとは言えません。「社会保障の為」と消費税を上げるのにもかかわらず、なぜ制度が悪い方向に向かうのでしょうか。しかし、世論と運動によって、介護度要支援1・2の人に対するサービスを全廃し自治体任せにすること、特別養護老人ホームの入居対象外にすることは条件付きではありますが見直されました。しかし、訪問介護と通所介護については自治体丸投げの方針は変えていません。

自治体に任せられれば、事業費に限りがあるためボランティア任せになったり、事業者を支払う単価を引き下げるなど費用削減が強いられ、サービス内容に影響することが十分考えられます。利用者負担についても、一定の所得がある方については負担金を2割に引き上げなど負担増を狙っています。

私は一般質問で、制度改悪によるサービスの低下につながらないか質問をしました。まだ確定されたわけではない為、「たれば」の話になりますが、国の方針が出てから町の施策を考えるのでは遅いと考えます。

葉山町では包括支援事業を行っています。要支援者が、介護保険給付から外されても包括支援事業として支援を続ける、というものでした。

現在、介護度が要支援1・2でサービスを受けている方でも、同じ事業所で同じサービスが変わらずに受けられる、という事で少し安心しました。

元気なお年寄りが多い言われる葉山ですが、高齢化社会に向けた問題は山積みです。以前「介護のことをどこに相談したらいいのか。包括支援センターがどこにあるのか分からない」という町民アンケートに寄せられた多くの声があり、もっとわかりやすい場所の検討を求めましたが、看板1枚、作成しただけで「対応済み」とされました。小手先の対応ではなく根本から高齢者問題をしっかりと考えていかななくてはなりません。

ひきつづき、高齢者も安心して暮らせる町づくりに頑張ります。